

【めむろ未来ミーティング】

令和6年11月24日（日）

10:00～12:00

睦町町内会

■参加者 睦町町内会 11人

■芽室町 町長、魅力創造課長、広報広聴係長
地域担当職員2人

■対応・検討が必要な事項

- ①電波障害でテレビが映らない(政策推進課)
- ②自主防災組織のわかりやすい資料はないか(総務課)
- ③ピウカ公園人道橋の街灯をLEDに(環境土木課)

- 1 町長挨拶
- 2 睦町町内会長挨拶
- 3 意見交換

テーマ

「魅力ある町内会づくりに向けて」

●町長挨拶要旨

市街地では巡回型の未来ミーティングを例年行っているが、単位町内会での開催は久しぶりのことであり、大変ありがたい機会である。テーマだけではなく、町政に関することをざっくばらんにお聞かせいただきたい。

●睦町町内会長挨拶要旨

従来この時期に町内会行事として年に1回の講習会をやる予定になっており、去年は税務署から2名お越しいただいて講習会を行った。相続に関する講習会で非常に盛況の中で終わったが、今回は若干趣向を変え、せっかく未来ミーティングという制度があるので利用させていただき、今我々の町内会が抱える問題点を話し合っ、アドバイス等もいただきながらより良い方向に舵を切っていきたいと考えている。

芽室町の町内会加入率が50%程度であり、我々の町内会もそのぐらいで推移している。少子高齢化で子どもたちが少なくなっていく、あるいは独居老人が増えていくという中で、防災の取り組みや地域のコミュニケーションづくりをどうやっていったらいいのかというところが非常に大きな課題となっている。我々の町内会の仕組みをもっと町内会の人に分かってもらうことや、防災に関する意識づけを高く持っていただくためにはどういう方法でやっていったらいいのかという課題もあり、これまでと同じやり方をしては歯止めがかからないと感じている。今日はお案内した4テーマを基本として話ができればと思っている。

◆意見交換

◇「町内会のしくみが見える方法は」の件

・新聞に帯広市の町内会に関する記事が載っていた。帯広市で市民アンケートを取り、町内会未加入者に町内会に入っていない理由を聞いたところ、入ってなくても困らないという意見が半数だった。他、役員になりたくない、忙しくて活動に参加できないという意見。また、どのような町内会なら加入したいかという問には、会費が安いこと、負担になる業務がないこと、活動を強制しないことという意見が挙げられたとのこと。こういった結果はどこの自治体も同様だと思う。また、このような状況が今後も懸念される。それを踏まえて町と意見交換をしていきたい。

●町内会員

行政として各町内会の町内会費は把握しているか。睦町は平均的な活動で町内会費も妥当だと思っているが、数十年会費は変わっていない。

●町長

町内会費は把握している。活動内容や加入世帯、規模にもよるので0円のところや700円のところもあり幅広いが、平均すると400円から500円。

●町内会員

その使い道や活動内容も把握しているか。

●町長

総会議案は全てもらっているので、活動報告や予算決算等はある程度把握している。先日、市街地町内会連合会主催で各町内会と座談会をやらせていただいた。睦町の皆さんも来ていただき色々話をしたが、他の町内会も含め、会費もそれぞれで活動も色々ある。その中で、会費の負担が大きいという話は正直あまりなかったが、町内会は任意団体であるので、町として「会費を安くしてください」ということは言えない。

●町内会員

個人的に思っていて、会費の件で声をあげるより黙って町内会をやめた方がいいということが耳に入ってくる。お金のことはなかなか言えない。

●町長

他の案件もそうだが、町内会全体を統一的に考えようと町から各町内会にお話しすることはできない。コロナ禍等で活動が少なくお金を使わなかったため、会員に還元など行っている町内会もある。

町として町内会の会費については言及できないため、町内会で会費について議論いただくことになろうかと思う。会費は活動内容や規模によっても変わってくるので、町内会ごとに検討いただき、町としては基本割と戸数割という形で計算した補助金で支援させていただいている。

●町内会員

前に、近所の人に、歩道の中までナナカマドの葉っぱがすごいからどうにかならないか聞かれた。その方は町内会に入っていないため、誰に言ったらいいのかわからないと言う。また、他の皆さんもそうなのかわからないが、電波障害で私の家のテレビが映らない時がある。近所の雑木林の影響という話もあるが、わからない。そのようなことを誰に言ったら良いのか。町内会の役員に伝えると、その状況を踏まえて町や関係者に町内会から伝えてもらえるのか。私も町内会に入っていて色々活動に参加しているつもりだが、そのような時

の町内会の役割というのが見えてこない。街灯もそうだが、そのような部分が、町内会のしくみが見えないというところだと思う。

●町内会長

今お話しがあった落ち葉の収集や電波障害、街灯切れなどの話があった場合は、町内会は直接手を出すことができないので、今は役場担当に連絡するという形を取っている。基本的には役場へ直接連絡していただく。

●町内会員

それを町内会長が取りまとめて役場へ連絡するという形はとれないのか。

●町内会長

現状は、そのような要望が私のところに来れば申し出を受け、町等に連絡をし、進ちょく状況等の確認も行っている。

●町内会員

それではそのようなことがあった時は、町内会長に伝えるべきか。

●町内会員

直接町に言った方が早いのでは。

●町内会長

残念ながら今はその仕組みができてないので個別対応の形をとっている。

●町内会員

そういった点も含めて、町内会のしくみ、役割が見えてこない。町内会の活動は行事だけなのか。

●町内会長

基本的には活動について総会の時にご説明しており、講演会や会議など、議案に記載の活動計画に則り事業を行っている。

●町内会員

それはわかるが、行事にしても募集等の案内は来るが、終わった後の報告がない。内容的にどうだったというような報告がもし町内会の皆さんにあれば、こういうことをやっていたのかなど、色々な意見が出てくると思う。参加していない人にアピールしなければ、活動を継続したり広げたりしていくことは不可能だと思う。老人会では、紙1枚だが毎月の活動報告を作っている。それだけでもどんなことをやって集まったのかわかる。毎月は無理だったら年4回ぐらいでも良い。そういう報告があれば、町内会でどういうことをやっているということがわかる。場合によっては町内会に入っていない方のポストに入れることで、町内会はこのようにしているのかと知ってもらえる。大変だとは思いますが、ちょっと頑張ってお知らせして情報共有することで、町内会のしくみが見えてくるのではないかな。

●町内会員

回覧板も少なくなり隣の顔も見ることがない。疎遠になってきている。

●町長

落ち葉の関係や電波の関係等、不具合等が起きた時にどうするかということだが、完全なルールがあるわけではない。例えば町内会に入っていない方がそのような不便を感じた時には町内会を通じては言えないが、生活を守るという責任は町にあるので、個人から通報いただくことも問題ないし、町内会がある程度まとめてという形でも結構である。農村地域だと地域で要望等をまとめて連合会から要望書を町に出すというパターンもある。それに対して町が回答書を作成してお答えしているが、この方法を市街地がしてはいけないということは無いので、その方法もあり得る。

●町内会員

①噂的な話であるが、木が高くなってきたことにより電波障害が起きているという話は聞いている。(西地区コミュニティセンター南側、ピウカ公園北側緑地)
それをどこにどう話したら良いのか。

●町長

町内会の広い範囲で電波が繋がらないということであれば町内会として要望を出してもらっても良い。一部ではなく、多くの皆さんが困っていると知ることができる。

●町内会長

今、町内会の運営に関して、役員会で検討していることがあるのでお知らせしたい。まだ検討段階であり決まったことではないが、先ほど話に出ていた会費の件。例えば小学生以下のお子さんがいる子育て世帯や高齢者の独居世帯の方は一部免除するとか、新規入会者に対しては1年間会費無料の特典を与えるなど、町内会に入りやすくなるような検討を進めている。しかし、そのようにすると事務手続きが煩雑となり、役員を担う人がいなくなるのではないかと懸念もあり、現在棚上げになっている。

また、先ほどの行事ごとに何かフィードバックがあればいいのではという件についても、例えば行事を実施した後に、どのぐらいその行事にお金がかかったのか、収支がどうだった等を行事終了後に報告する取組や、班長にお願いしている広報誌配布についても、非会員の方も含めて全世界帯に配布するという案もあり、検討を進めている。今後総会等で皆さんの意見を聞きながら現実化していきたい。

要望等の役場への伝達方法は、町内会として仕組みが確立されていないので、その仕組みについても検討させていただきたい。

●町長

要望の際は、要望内容によって役場の担当部署はまちまちであり、どこに話せばよいかわからない場合もあるかもしれないが、地域担当職員もいるので、地域担当職員に言っていただければ、担当窓口に繋いで対応させていただくし、内容は私のところにもくる。ぜひ地域担当職員を活用いただきたい。

◇「住みよい安心できる環境づくりに向けて」の件

・先ほど落ち葉の話もでたが、ごみも含めて、どのよう

にしたら安心できる環境となるか。

●町内会員

公営住宅に入る時の条件はどのような条件なのか。私の家から公営住宅が見えるが、ごみの出し方や車の駐車等に少し問題があり、目についてしまう。ごみの出し方等を注意したところ「聞いていない」との話だったので、町は入居時にどの程度指導しているのか。

●町長

まず入居の申請書があり、申請書に収入等の情報を記載していただく。その時点では入居が決まっていないので、ごみの出し方等の説明はしない。その後、入居が決まった段階で説明を行っているので、聞いていないということはないはずである。

実際にそのようなことがあれば、町に言っていたければ指導する。ホットボイス等でもいただいております、対応している。

町としても、ごみの出し方や車の止め方等、生活については入居申請時にわからないことなので、入居後に分かるというのが実態。そのような場合には、根気強く指導やお願いをしていく。

先日の座談会でも役員の皆さんから話が出ていたが、そのような状況は町内会で解決しようということはいけない。それは町や警察が対応することが筋である。

●町内会員

実際に問題があり警察沙汰になった件もある。騒音など近所迷惑になっている実態もあるので、把握していただき、ぜひ指導をお願いしたい。

●地域担当職員

この件は把握しており、外勤の際には気にして見ている。また、その際に騒音などの状況があった場合には、直接お話しさせていただいて指導はしている状況。

●町長

町は大家の立場なので指導はしていくが、一方で

住まれている方には居住権もあるので、毅然と対応する部分と慎重に対応しなくてはならない部分もある。しかし、近所迷惑は良くないのでしっかり指導はしていきたい。

●町内会員

実際に警察が来ている状況もあるが、このような状況になったらどうにかできるのか。

●町長

極論を言えば退去命令のような形もとれるかもしれない。

いずれにしても、そのような状況になった際には、町内会で解決しようとせず、危険なので町や警察に連絡をお願いしたい。

●町内会員

街路樹だが、昔ここに来た時、葉っぱの落ちる大きい街路樹が植えられた。立派だが、住んでいる人が落ち葉を集めて捨てる必要があるのも、これから道路整備する際には街路樹は不要ではないか。各自の庭もあり、緑が不足することもないの思うので、検討いただきたい。

●町長

今は新しい町道等で街路樹のスペースを作っているところは少ない。ただ、景観の面や、緑地を一定程度作らなくてはいけないということがある。今ある街路樹については、倒壊の危険性がある老木や、伸びている枝のカット等に対応している。

●町内会員

2点ほどお伝えしたい。

道道だから管理外という話になるかもしれないが、本通2丁目の大きな木。秋ごろになると剪定しているようだが、夏場に信号機が見えない状況になる時もある。道の管理であるが、強く要請していただきたい。

2点目はピウカ川の件。広報誌のホットボイスのページにも意見が載っていて、回答は振興局に要請しているという内容。順番もあるのかもしれないが、現状は

見てのとおり草が生い茂り木も太くなり、川がどこに流れているかわからない。1m程の蛇もいるようだ。危ないため強く要請してほしい。

●町長

課題は私たちも認識していて、毎年要望もしっかりしている。特に2丁目の大きな木については、町内会と帯広建設管理部と実際に話し合いをして、将来どのようにしていくかというところまで意見交換している状況。離れた町内会の皆さんには説明していないが、該当町内会とは話している。

ただ、道路も川もそうだが、北海道もお金がない。また、管理が全道に及び非常に大きいということもあり、なかなか進んでいかないという部分もある。人員もお金もひっ迫している状況はあると思う。

ピウカ川は今、下の方から公園をやったり橋をやったりと進んでいて、最後はJR橋までやるということは約束しているが、それが毎年どの程度進むのかはお金の問題もあるということを知っている。早期に実施してほしいということは言わせていただいているし、継続して要望していきたいし、私の立場としても強く言っていきたい。

●町内会員

交通事故が心配。事故防止の面も含めて早期に取り組んでもらいたい。

●町内会員

町内全体のことだが、冬の除雪。交差点は見通し良くしてほしい。車が半分以上出ないと見渡せない状況もあって危険。交差点は事故の可能性も高く、もう少し改善してもらいたい。

●町長

除雪はバス路線と主要道路が優先に行う。市街地の交差点は基本的に左回りが基本。右回りだと雪が道路に落ちて残ったまま曲がってしまうことがあるため。札幌市等では除雪車の後ろにもう一台ロータリーを走らせて雪を避けていくということをやっているが、それをやると人手や設備、費用がものすごく

かかってしまうという部分がある。比較的、芽室町の除雪はまだ評価いただいているが、今いただいたような課題はあると思っている。

間口除雪も本当は実施できると高齢者の方にとっては良いことだと思っている。重たい雪を置かれていくという意見もあり、気持ちは理解できるが、どうしても除雪して溜まりやすい場所というのがある。そこは理解してもらいたいと思う。

しかし、課題だと思っているので、除雪も頑張っているが、伝えて改善できればと思っている。

●町内会長

睦町町内会も自主防災組織があり、組織表やマニュアル書等があるが、このようなことがどれだけ町内会員に理解されているのか疑問に感じている。マニュアル書を見ても非常にわかりづらいお役所言葉が並べられていて、何人が理解できているのかという感覚。なので、②自主防災組織のわかりやすいプレゼン資料のようなものや、かみ砕いて非常に明快な資料等があればぜひ参考にさせていただきたい。

●町長

町内会活性化の1つのポイントは防災だと思っている。先日の座談会でも、町内会員が自分の町内会に自主防災組織があることを知らなかったり、何をやっているかもわからなかったりすることが課題として挙げられた。町としても良くなかった部分であるが、自主防災組織立上げ時の役員や会員には町から自主防災組織についての説明をしているが、その後、役員が変わってからは説明できていない場合もある。これは課題だと思っているので、今後は自主防災組織のある町内会に対して定期的に説明会を実施していくことは必要だと考えている。

もう一点、議会でも回答しているが、個別支援計画というのがあり、災害時に特に支援が必要な方々を把握して、その方々をどのように避難していくかという計画を法の改正により町が立てられるようになったため、前向きに動いていこうと考えている。ただこれは町内会未加入者も対象であるため、できるかどうかかわからないが今考えているのは、各地域に

地域担当職員がいるので、地域担当職員に地域に入ってもらって、地域で支援が必要な人を把握し、その中でこの人はどのように避難してもらうかまとめていくということを手がけられないかと思っている。それに加えて町内の皆さんにもご協力いただいて、色々な情報をいただきながら計画を作っていくことが大事だと考えている。支援がないと避難できない方もいらっしゃるの、そういう方を把握して、このルートで避難しましょうという形まで持っていければ安心していただけると思っているの、少しずつ取り組んでいきたい。

●町内会長

これから独居老人も増えていくと思われるので、有事の際の支援や避難行動等を皆さんに周知する方法が町内会としても大きな課題。

●町長

支援者の台帳づくりというところが、座談会での五つの大きなテーマの1つにしている。町としても本格的に頑張っていかなければいけない。

●町内会員

近くにピウカ川があるが、平成28年の災害時に、ピウカ公園の堤防30cmくらいまで川の水が上がってきていたということは把握しているか。

●町長

把握しているし、判断基準の水位があるため気にしている。

●町内会員

今はあちこちで災害が起きており、芽室町でも起こりうる。今のピウカ川の堤防は、河川水位が増えた時のことを考慮した形になっているのか。

●町長

北海道は今まで水害が多くなかったため、本州に比べて河川体積の基準は大きく作られていない。本州は昔から水害が多いため、河川も結構深く掘られ

ている実態。そのように河川を改修すると費用が高い。それで芽室町で行っているのは、大雨予報があった際に、事前放流といって美生ダムから水を流して水位を下げ、雨水を一定程度貯めることによって、河川の水量を抑えるという取組を国と一緒にやっている。放流ではなく、事前にそのように準備しておくことが美生川にとっては大きな対策だと考えている。雨は地震と違いある程度予想できるので、事前放流の取組をしていることを御理解いただきたい。河川自体を変えることは難しいが、十勝川は国が改修を行っている。ピウカ川に関しては、当面雑木処理や掘削作業を要望していく。

●町内会長

町にはその進捗状況を常に確認していただき、フィードバックしていただきたい。

また、③ピウカ公園の真ん中に人しか通れない人道橋があるが、夜がものすごく暗い。周りの街灯はLED化して明るくなりつつあるが、あそこだけ古いままなので、安心して夜でも通れるように明るくしてほしい。

●地域担当職員

学生も通るので私から夏頃に街灯が切れていることを担当に伝えており、付け替えは行われている。

●町長

LEDでないと暗いのかもしれない。

◇「子どもたちの地元愛を育むためには」の件

・少子高齢化の影響もあり、子ども会の人数は片手で足りるほど。その中でも子ども達に町内会に理解できるような取組や、思い出になるような行事ができればと考えている。

●町内会員

子ども会の人数が少なくなっているということで、できるかわからないし、色々な問題があるのかもしれないが、他の町内会と連携して一緒に事業を行うことはできないか。この西地区コミュニティセンターも6町内会で管理しているので、その町内会と一緒に子ども会

活動はできないか。

●町内会長

先日秋祭りを行い、子どもがだいぶ少なくなった印象だったが、その前に睦親和会で盆踊り大会を行った際に近隣町内会に呼び掛けたところ、たくさん子ども達が集まったという話を聞いた。その流れで、今の秋祭りを昔のように子ども達の夏休みに合わせて夏祭りに戻し、近隣町内会も合同で実施したらどうかという提案が役員会の中でもあった。早速近隣町内会の方にも打診させていただいたところ、まだ具体的な話もしていないので決定ではないが、各町内会長から非常に乗り気で前向きに考えたいとの話をいただいた。それが成功したら、ラジオ体操や新年交流会の餅つき大会などに横展開していければと考えている。

●町内会員

その場合は、親が町内会に入っていない子どもは参加できないのか。

●町内会長

厳密に言えばそうなのかもしれないが、子ども達に地元愛を育んでもらいたいという目的からも、町内会加入者未加入者問わず、参加してもらいたいと思う。

●町内会員

コミュニティセンターを使用する際には原則お金のやり取りは禁止だと思うが、子ども達が体験活動として、おもちゃを売ったりお店をやったりすること等も施設運営上できないことか。

●町長

営利目的かどうかポイントなので、町内会や子ども会が実費程度で行うことは問題ないと思う。

●町内会員

体験活動はすごく子ども達の興味をひく。お店屋さんを作って、古いおもちゃを持ち寄って、子ども同士で店員さんになったりお客さんになったりして体験させてあげたら楽しいと思う。

●魅力創造課長

コミュニティの醸成や活性化させるという目的であれば問題ない。とても良い取組である。

◇「デジタル化に向けての課題とは」の件

・行事ごとの会計や、結果の報告をお便りではなく、町内会ホームページを作成し、ホームページで確認できるようにすればお便り作成の手間がなくなるのではないかと考えたが、実際にそれをするとなると難しい。何か良い方法がないか。

●町内会員

ホームページは難しいと思う。高齢化もあり、どれだけスマホを操作できる人がいるか。スマホを使いこなしている若い人などは広報誌もデジタル化で紙はいらないという意見もあると思うが、私たちはできないので紙を待っている。

町内会でスマホ講習会を開いたらどうか。

●町内会長

非常に貴重な提案だと思う。デジタル化は避けられない問題だと思うので、町内会活動もデジタル化に向けて考えていきたい。

実際に町内会のグループラインがあり、現在23名、約15%の方が登録して情報交換をしている。今後も今お話しがあった講習会等で登録者数を増やし、風通しの良い町内会を作っていきたい。

●町長

デジタル化に関して町の考え方をお話しさせていただくと、ラインの話もあったが、町も公式ラインがあり、今は登録者が6,500人くらい。ラインは設定の中で自分の興味ある分野を選べるので、選んだ情報だけが送られてくる。もしかすると、広報誌を全部読むのも良いが、自分の欲しい情報だけあればいいという方もいるかもしれないので、そういった形で選択肢を広げるということをやっていきたいと考えている。スマホで広報誌も読めるので、雑誌で毎月見られないという方もいる。そのような方はスマホで情

報取得して満足いただけるのであればそれでも良いと思う。また、町内会にもお願いしている広報誌配布の手間等も非常に大きくなってきていて、雑誌でなくて良いという声も増えてきている。どこかの段階で切り替える必要はあるかもしれないが、今すぐ紙を無くすということは考えていなくて、今は選択肢を増やして選べる形にしたいと思っている。

回覧板も工夫されている町内会も増えている。班の皆さんが合意されれば、ラインやメールで回覧板情報を送って周知すると、回覧板が回ってきたらもう行事が終わっていた等もないというようなメリットがある。

商店街ではMカードをやっている。Mカードも、高齢者が使えないかということそうでもなく、70代や80代の方も使いこなしてポイントを貯めている。

そういう面も含めて、町としては使える方のためにも様々な基盤を用意していくことが仕事だと思っている。町内会としても同じような考え方、発想で良いのではと思う。

◇「その他」

●町内会員

私は団塊の世代で、貧乏な時に生まれた。同級生と話すと「いつも腹すかせていたよな」とか「ここ行きたくても金なかったよな」とか、そのような話がいっぱい出てくる。今は教育や学校に関してほとんどが「タダ」である。この「タダ」は本当に良いのか。義務と権利で、権利が前に出すぎてしまって、義務が後ろにきている感覚がある。将来のために本当にこれで良いのかと思うことがいっぱいある。行政としては国で決められたとおり執行するわけで、補助金等もたくさん出ているが、本当にこれで良いのかと思うことが度々ある。独り言である。

●町長

子育てに力を入れようという流れが全国的にあることは事実。高齢の方は無視しているかということそうということではない。私が一時福祉の担当をしていた時は、高齢者福祉・介護保険制度が導入される頃

で、高齢者に対して力を入れている感覚の世の中だったが、今は子どもが少なくなってきて、大事にしないと将来に向けて担い手が不足することになってしまふという考え方もあり、子育てに力を入れようという時代になってきている。

例えば、医療費の無料化や芽室町はやっていないが給食費の無償化も、そのようなことをしていかないと町のサービスが悪いと捉えられてしまう傾向はある。

町全体として住みやすい町にしていけないとならないが、子育てに関するサービスも無視するわけにはいかないという部分は御理解いただきたい。

お答えになっていないかもしれないが、仰っていただいたことはよくわかる。

●町内会員

町内会の活気がなくなってくると町全体も活気がなくなるという感覚はあるか。

●町長

町内会だけを活性化させれば地域コミュニティが全てオッケーというわけではないと思うが、一番のベースとして、地域の自治、自分たちの自治を守るのは町内会だと思っているので、それを大切にすることはならないと思っている。座談会にも参加して気づいたことは、町内会自体も非常に苦労しているし頑張っているということが分かった。また、課題についても本当の現場としての想いが伝わってきた。

その座談会を終えて、5つの観点で整理した。5つとは「子ども会育成の支援」「デジタル化の支援」「防災、要支援者の支援」「合併、統合の支援」「加入率の支援」。この5つの柱を整理させていただいたので、これに対して町がどうしていくかを真剣にやっという考えを持っている。

言い方として町内会は「任意組織」となるが、「任意組織」と割り切ると地域コミュニティが成り立たなくなってしまうので、「任意組織」という考えをあまり持たず、かつ、行政が入りすぎてしまわないよう、バランスを見極めながら解決に向けて取り組んでいきたい。



12時00分終了



（睦町町内会とのミーティングの様子）